**CCDO協同事業委員会**

2020年12月3日（木）18:30〜20:30　（Zoom会議）

出席者: 10名

委員：　岩佐(委員長)／渡辺（副委員長）／和田／佐藤／佐伯／須賀／金子

オブザーバー：　安藤会長／鯉江（広報委員長）／黒田（副事務局長／議事録作成）

**デザインシリーズセミナー**

（岩佐委員長）

○セミナーの共催・後援・協賛などの依頼先について

　共催：（株）国際デザインセンター

　後援：中部経済産業局・愛知県・名古屋市・名古屋商工会議所・中部経済連合会・中部経済同友会

　依頼書の作成が必要

　内容：企画書（開催趣旨・開催概要）及び収支予算書

行政や経済団体には収支予算書をつけることが必須。行政の予算書書式はダウンロード可。

　年内に依頼書をまとめ、1月上旬にはCCDO会長、委員長などが依頼の挨拶に回る。

　企画書及び収支予算書の作成は岩佐委員長＋渡辺副委員長でまとめる。

○講師と日程について

（渡辺副委員長）

＊前回講師候補になった方々の打診結果

第１回　上田聡司OK 候補日：5/11(火)　5/12（水）5/13(木)のいずれか

第2回 丹羽浩之OK 候補日：特に指定日なし　こちらから提案

第3回 鈴木光太OK 候補日：月・水・金のいずれか

第4回　向井真人OK 候補日：特に指定日なし　こちらから提案

＊講師候補と日程／講演時間配分について

時間帯はいずれも16:00〜18:00の設定　前半：講演　休憩（約10分）を挟み後半：グループワーク

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 日程 | 内容 | 講演／講師 | グループワーク |
| 第１回 | 5月12日（水） | 調査・企画 | イントロ　渡辺俊生（10分）上田聡司（30分）／原愛樹（30分）：計70分 | 45~50分自己紹介 |
| 第2回 | 5月28日（金） | コンセプト・アイデア | 丹羽浩之（40分） | 70分 |
| 第3回 | 6月9日（水）　 | モデル化 | 鈴木光太（40分） | 70分 |
| 第4回　 | 6月18日（金） | 経営・ブランディング | 向井真人（40分） | 70分 |

各講師に上記のスケジュールを連絡する。

講師向けに全体の流れを説明する資料も今後必要。

講師が参加してZoomでの事前打ち合わせを行ったほうがよい。

＊リハーサルセミナーについて

　本番を想定したシミュレーションを行う。

　グループワークの参加者：

（1グループにつき参加者：４〜５名＋ファシリテーター：１名＋書記：１名）×グループ数

　全体のホスト（管理者）：１名必要

ホスト（管理者）の役割：セミナー開始と終了　グループ分け（ブレイクアウトセッション）

ホストは各グループに入室可能。進捗確認ができる。ホストから全体参加者宛にチャットでメッセージ送信は可能。

講師はグループワークに参加するか？　→ 特に必要というわけではないが講師の希望も確認

＊ファシリテーター、書記について

　ワークシート、プログラムの作成

ファシリテーターのトレーニングが必要。

初めて顔を合わせる参加者同士でオンラインでのディスカッションがどこまでスムーズに行えるか。

ファシリテーターの適切な誘導が必要。

書記は参加者の発言からキーワードを拾い上げテキストうち〜チャットを活用するのが最も簡単なのではないか？

次回の委員会やリハーサルセミナーなどで具体的な検証を行っていく。

　実際のセミナーでは全体ホスト、ファシリテーター、書記で少なくとも１０名程度の運営スタッフが必要になる。

　協同事業委員会の委員だけでは足りないのではないか？

→ 　交流委員会やナイトトーク委員会など他の委員会に協力要請してはどうか

○集客方法について

　・後援依頼先に広報協力をお願いする。〜チラシの同封などは有料になる。メルマガ掲載の協力が得られるか打診。

　　経済団体への広報協力依頼は会員がいないと難しい。

　・過去のセミナー参加者やデザイン相談者への広報

　・メッセナゴヤ2020 オンライン名刺交換先　など

　共催・後援依頼に必要な書類を年内に完成させ、来年の早い段階から各所に広報協力のお願いを行う。

●次回　協同事業委員会

12月21日（月）18:30〜　Zoom会議

今後、協同事業委員会の委員がZoom会議ホストを担当できるようにする。

（CCDO\_ZOOM会議開催要領.pdf　参照）

次回は佐伯委員が担当（ミーティングスケジュール及びCCDOサイトのカレンダーへの登録は安藤会長が行う）

CCDOホームページのカレンダーに予定がアップされるので、そこからZoom会議に入室できる。